

太陽光発電設備等共同購入事業の登録件数 1,000世帯を突破！

宮城県では、住宅に太陽光パネルや蓄電池を設置したい県民を募集し、スケールメリットを活かして安く購入できる取組み「みんなのおうちに太陽光」事業を4月7日から実施しております。

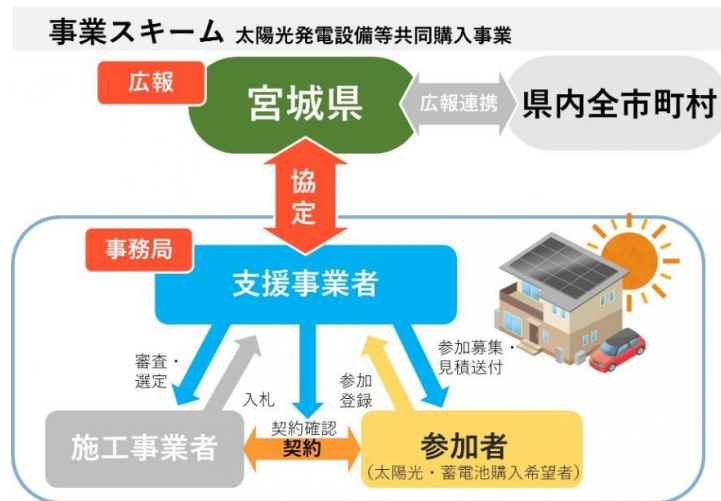
このたび、登録世帯数が1か月余りで早くも1,000世帯を突破しました！（5月15日正午時点1,183世帯）

電気代高騰などを背景に、県民の皆様から非常に高い関心が寄せられておりますので、報道機関の皆様には、引き続き広く情報発信にご協力くださるようお願いいたします。

1 事業概要

本事業は、県がアイチューザー株式会社と協定を結び、市町村と広報に係る連携を図りながら実施するものです。

参加登録期間は7月31日までとなります。詳細は別添チラシをご覧ください。



2 事業効果について

人口100万人あたり500世帯の登録で十分なスケールメリットが得られるため、宮城県（人口約220万人）においては1000世帯の登録が一つの到達点となります。

太陽光発電設備等の金額は、5月下旬以降に決定予定です。

【参考】昨年度の仙台市の実績では、436世帯から登録があり、パネル設置費用が市場価格より平均23.6%安くなりました。